

“陰山メソッド”の成果がデータと育ちの姿に！



↑陰山英男先生

田川市教育委員会 教育長 吉柳 啓二

「田川市のここ2年の躍進はすごい。全学級に電子黒板を一斉に入れた効果も大きく、中でも算数の思考力の向上が際立っている。もっとも上げにくい算数の思考力の高まりもあり、今年の全国学力テストでは間違いなく大躍進するでしょう」この言葉は、田川市学力向上アドバイザーの陰山英男先生が毎日発信されているツイッターに書かれていたものです。

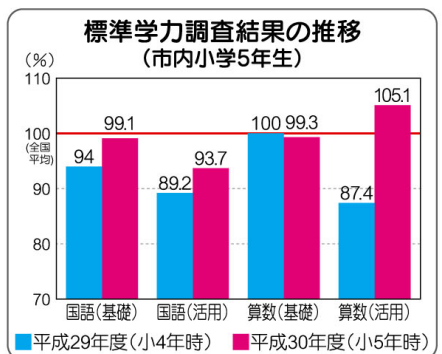
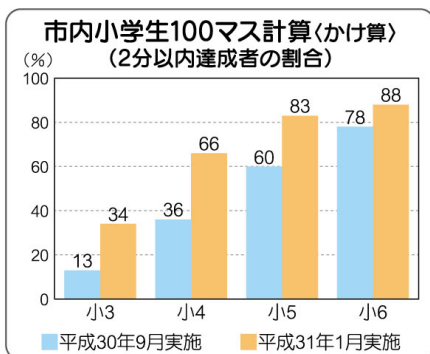
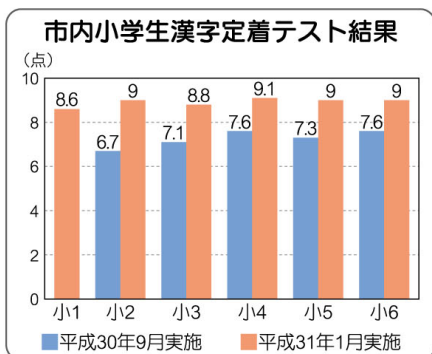
田川市教育委員会は、「自分のよさや個性を生かして、自立し、進んで社会参画していく子ども」を育てるために学力向上の取り組みに力を入れてきました。具体的には、3年前から、全国のいろいろな地域で大きな成果を上げている陰山先生の指導を受けながら、市内の全小学校で「脳の活性化」「集中力・基礎学力の向上」をめざした「読み・書き・計算」の徹底反復に取り組んできました。“陰山メソッド”導入3年目の昨年度は、検証校の鎮西小と伊田小を中心に、毎日、「詩や古典などの音読」「たし算・ひき算・かけ算・わり算の100マス計算」「漢字の先取り学習」などに取り組みました。そして、昨年度、「100マス計算が2分以内でできる子どもの急増」「漢字定着率の9割超え」「1月に市内一斉に実施した標準学力テストで全国平均を超える学校の続出」という陰山先生曰く「驚愕の成果」が出ました。しかも、驚くべきことに「基礎力」だけでなく、「活用力」の伸びが

半端ではないのです。この田川市の著しい伸びの要因を陰山先生は次のように自身のツイッターに書かれています。

- (1) 各学校が創意工夫し、テンポとスピードを大切に授業を展開していること
- (2) 全教室に電子黒板を設置し、学習効率を大幅に上げていること
- (3) 先進地に学びながら、教育委員会と学校が連携して取り組んでいること

私は、学力向上の要因は各学校の教職員みんなが同じ方向を向いて「田川市の子どもたちの学力を絶対に伸ばすぞ!」という強い思いで取り組んできた成果だと思っています。また、私が一番注目しているのは「基礎基本」の徹底反復学習で、子どもたちに「やれば出来る!」という“自信”が芽生えてきていることです。そして、この“自信”が子どもたちの挑戦意欲や積極性を高めています。3月に行われた卒業式においても、「子どもたちの態度が立派で自信にあふれていた!」「合唱も呼びかけも素晴らしかった!」という声を多くいただきました。学力の向上が、子どもたち一人ひとりの“よさや可能性”を伸ばすことにつながっているのです。

これからも、この学力向上の取り組みを基盤に、「英語教育」「ICT教育」など、国際化・情報化社会を生き抜く子どもたちに必要な“最高の教育環境”づくりを、行政・学校ぐるみでがんばります。どうぞ期待を!



みんなが誇れる、教育と文化のまち、田川をめざして

平成30年度の主な取り組みと成果、令和元年度の目標と主な取り組みを紹介します。

平成30年度の主な取り組みと成果

【教育総務課】

- 児童生徒の快適な学校生活のため、大藪小学校、鎮西小学校、伊田小学校のトイレ改修工事と大浦小学校、大藪小学校の外壁改修工事を実施
- 教育委員会職員、教職員の人権・同和問題に関する理解と意識を向上させるため、田川市教育委員会人権・同和問題職員研修計画に基づき研修会を実施
- 広報紙「GuRuMi」による情報発信を年3回発行し、英語教育やICT教育などの成果、新中学校創設に向けての取り組み状況、食育の推進状況、放課後チャレンジ教室に関する取り組みなどについて市民に発信

【学校教育課】

- 全国学力テストの国語A（基礎基本）において、全国平均との差を小学校は1.8ポイント差、中学校は6.5ポイント差に縮小
- NHK杯全国中学校放送コンテストのテレビ番組部門において、市内中学校が最優秀賞を獲得
- 第1回福岡県中学生英語スピーチコンテスト筑豊地区大会で市内中学校代表生徒が最優秀賞・優秀賞を獲得
- 田川市の電子黒板デジタル教科書などの整備とそれらを活用した授業改善が評価され「2019日本ICT教育アワード」において、“審査委員長賞”を受賞
- 地元企業の科学研究所と連携協定を結び、小学校高学年を対象とした「田川ジュニアサイエンスセミナー」を実施
- 学校現場と福祉行政をつなぎ、0歳から18歳までの子どもとその家族に切れ目のない支援を行うために市民生活部内に

新設された「子ども支援連携推進室」が実働を開始

【新中学校再編推進室】



- 「新中学校創設基本計画（案）」を広く周知するため、説明会や懇談会を実施
- 市民や保護者のみなさんを対象に、「新中学校創設に関するアンケート」を実施
- 教職員で構成する「田川市新中学校教育課程等研究会」を設置し、新中学校の教育課程、生徒指導、特別支援教育および児童・生徒の事前交流などについて調査研究を実施

【文化生涯学習課】

- 学校・家庭・地域の連携事業「放課後子どもチャレンジ教室」を4校から6校に拡大
- 総合体育館のロビーのバリアフリー化やエレベータ設置、障がい者駐車場や裏駐車場の整備を実施し、利用者の利便性を向上
- 三井田川鉱業所伊田坑跡が国の史跡に指定され、田川市・飯塚市・直方市の筑豊三市合同の筑豊炭田遺跡群リレー講座を開催
- 田川市立図書館が「第22回図書館を使った調べる学習コンクール」において、学校・地域を巻き込んだ“本で調べる習慣を普及させる取組”が評価され、「総務大臣賞」を受賞
- 田川市美術館が主催した「英展」が平成30年度から「公募制」となり、全国各地の新進画家の作品630点が集まった。「筑豊からの発信」「(既成の概念にとらわれない)とんがった作品を！」のテーマ通り、質の高い、素晴らしい作品が選ばれ、全国区の美術展へと大きく飛躍



令和元年度の目標と主な取り組み

【教育総務課】

より良い教育環境づくり

児童生徒の安全安心で快適な学校生活のため、小学校3校のトイレ改修、2校の外壁改修、小学校全校と猪位金学園の空調設備設置工事、中学校全校に気化式冷風機の導入、市内小中学校の敷地内にあるブロック塀改修工事など

積極的な情報発信

開かれた教育委員会をめざした、広報紙「GuRuMi」の発行など

教育委員会職員、教職員の人権・同和問題に関する理解と意識の向上

田川市教育委員会人権・同和問題職員研修計画の進捗管理など

【学校教育課】

安全・安心かつ気持ちよく学べる教育環境づくり

子どもたちが安全で安心して学べる教育環境の整備に向けた、給食の提供や食育の推進、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー、家庭、地域が連携協力した問題行動などの解消、土曜数学・英語学び塾のさらなる拡大など

確かな学力、豊かな人間性、健康・体力自立心を育む学校教育を推進

電子黒板などのICT機器を活用した授業の実施、田川市ぐるみ・学校ぐるみで学力、体力の向上をめざした陰山メソッド・小河式による徹底反復学習や集中速習学習の実践など

「田川ならではの教育」の推進

福祉行政との連携強化、ICT教育や青山学院大学と連携した田川市インバウンド教育の推進および田川市英語教育の充実、福岡県立大学との連携強化、中学生生徒会サミットの実施など

【新中学校再編推進室】

「新中学校創設基本計画」の決定

「新中学校創設基本計画」を決定し、計画に沿った設計業務などの実施

開校準備協議会（仮称）の設置

地域住民や保護者のみなさん、教職員で構成する開校準備協議会を設置することにより、新中学校の開校に向けた具体的な協議の開始

【文化生涯学習課】

強い絆で結ばれた地域共同体づくり

強い絆で結ばれた家庭・地域社会の構築に向けた、学校と地域が連携した“笑顔のハッピーオーラあいさつ運動”の推進、関係団体などと協働した交流の場の提供など

いつでもどこでも学べる生涯学習環境づくり

活力ある地域社会の実現に向けた、生涯学習に関わる各種事業や公民館講座や人材バンク事業の推進、市立図書館の整備充実など

子どもたちを守り、健やかに育むため、家庭・地域の教育力向上

子どもたちの安全確保と健全育成に向けた、青色パトロール車での巡回などによる地域の防犯活動、



放課後子どもチャレンジ教室の拡大実施（6校区から8校区）など

互いの人権を守り合う地域社会づくり

人権意識・人権認識・人権感覚をさらに高めるために、校区活性化協議会や公民館などさまざまな場での人権・同和教育講座や人権問題に関する基本的認識を高めることを目的とした、なるほど人権セミナーたがわの開催など

国際交流とスポーツ活動の活性化

生涯スポーツ社会の実現に向けた、だれもが安全に安心してスポーツに



親しむことができる環境づくり、本市で事前キャンプを行う海外のオリンピック、パラリンピアンなどと子どもたちとの交流事業など

豊かな心を育む芸術文化活動の支援

文化活動の充実に向けた、田川文化連盟など関係団体と協働した市民文化祭などの実施、市美術館の整備充実など

歴史を受け継ぐ文化遺産を保護・活用

ユネスコ世界記憶遺産（世界の記憶）の「山本作兵衛コレクション」を中心とした文化遺産の調査研究普及の実施、筑豊炭田遺跡群のひとつとして国指定史跡となった三井田川鉱業所伊田坑跡の保存活用の推進など

教えて!再編ススくん

市内中学校の再編に関する 現在の取り組み状況と今後について



【現在の取り組み状況】

田川市教育委員会は、平成29年9月に「新中学校創設基本計画（案）」を作成し、その内容を広く周知するため、市民や保護者のみなさんを対象に、説明会や懇談会、アンケートなどを実施してきました。現在は、これまでにいただいた意見や課題を踏まえた「新中学校創設基本計画」の決定に向けて取り組んでいます。

【今後について】

①基本計画の決定後、説明会やHPなどで改めて市民や保護者のみなさんにお知らせします。

- ②地域住民や保護者のみなさん、教職員で構成する開校準備協議会（仮称）を設置し、より良い学校づくりに向けて準備を進めていきます。
- ③子どもたちが安心して通えるように、通学路の整備計画を立て、歩道の設置やカラー舗装などの通学路整備や、防犯灯の設置に向けて準備を進めていきます。
- ④子どもたちの不安を和らげ、円滑に学校生活がスタートできるよう、事前交流の機会を設けたり相談体制を整えたりするなど、新しい学校の教育環境について検討を進めていきます。

◆学校再編に関する問い合わせ◆ 田川市教育委員会 新中学校再編推進室 ☎85-7169

山本作兵衛コレクション原画企画展 春季企画展「水路輸送」閉幕



4月23日から5月19日まで、田川市石炭・歴史博物館で春季原画企画展「運べ石炭! 燃やせ黒ダイヤ! ~川の流れとともに~」を開催し、約2,900人が訪れました。

「掘った」あとの石炭を「運ぶ」という観点から、今回は川船（川ひらた）での輸送に着目。日焼けした船頭さんが力強く操る様子などを、作兵衛翁が描いた炭坑記録画などで紹介しました。



また、会期中の5月5日に行われた、「コールマイン・チャレンジ石炭を燃やそう!」では、参加者は石炭の煙やにおいを、懐かしがったり珍しがったりしながら体験しました。

秋季企画展「鉄道輸送」

本年10月末から開催予定!

秋季企画展「鉄道輸送」

春の川ひらた輸送の続編として、秋は鉄道輸送に迫ります。近代化を支えた石炭産業の根幹を担ったその姿を、ぜひ会場でお確かめください。

■とき：令和元年10月末～11月末(予定)

◆問い合わせ：石炭・歴史博物館 (☎44-5745)

これからの教育委員会を担う若者たち!! ~教育委員会の新人を紹介します~

■今の仕事 文書管理や教育施策方針の資料作成などの庶務を行っています。

■意気込み 一日でも早く仕事を覚え、一職員として最高のサービスが提供ができるよう頑張ります。



おざき せいしろう
尾崎 聖士郎
教育総務課
総務係

■自己紹介 糸田町出身の26歳。趣味はサッカーですがスポーツ全般が好きです。

■今の仕事 中学校の予算や児童生徒の通学にかかわることを行っています。

■意気込み 先輩方にビシバシ鍛えられ早く一人前になれるように慎んで努力します。



うしお きちのすけ
牛尾 吉之介
学校教育課
学校教育係

■自己紹介 今はなき船尾小出身の26歳。趣味はラジオを聴くことです。

■今の仕事 牛乳の発注、給食費の徴収業務や係の庶務などを行っています。

■意気込み まだまだ分からない事だらけですが明るさと元気で精一杯頑張ります。



まつざき かのん
松崎 夏音
学校教育課
学校給食係

■自己紹介 伊田小、伊田中出身の19歳。趣味はメダカの飼育で、好きな食べ物はお寿司です。